

令和6年度川崎市公文書館歴史講演会を開催します

川崎市公文書館では、多くの人に川崎の歴史を理解していただき、川崎地域に対する共感と理解を深め、同時に川崎の歴史を後世に伝える史料・公文書を保存し情報として発信する公文書館の役割を広く知っていただくことを目的に、毎年「歴史講演会」を開催しています。

今年度は市制100周年を記念し、「川崎市の輪郭はどのようにかたちづくられたのか」をテーマに、一橋大学大学院教授 石居 人也 氏に御講演いただきます。

- 1 日 時 令和7年3月9日（日）午後2時～午後4時（開場午後1時30分）
- 2 場 所 川崎市高津市民館 12階大会議室
（川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2）
JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」徒歩3～4分
- 3 演 題 「川崎市の輪郭はどのようにかたちづくられたのか―市制施行・市域拡張と地域社会―」
川崎は1924年に川崎町・大師町・御幸村が合併するかたちで市制を施行し、1939年にかけて、隣接町村との合併を繰り返しながら市域を形成しました。
当該地域で暮らす人々にとって切実な問題だった市町村の再編を巡って、どのような議論や動きがあったのかを追いながら、人々が「川崎市になること」とどのように向きあったのかについて御講演いただきます。
- 4 講 師 石居 人也（いしい ひとなり）氏
一橋大学大学院教授
主な著書 『創られた明治、創られる明治―「明治150年」が問いかけるもの―』
（岩波書店 2018年、共編著者）
- 5 募集人員 100人（当日先着）
- 6 受講料 無料